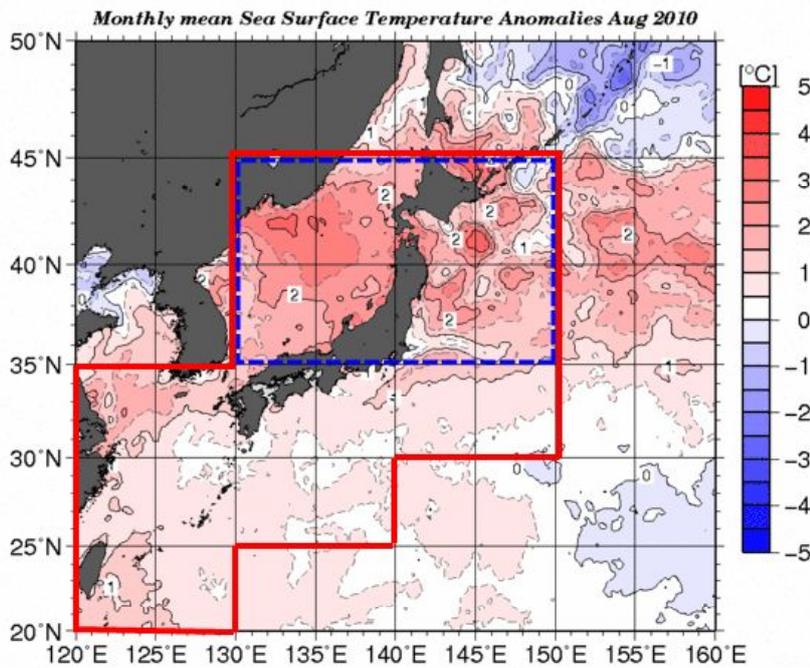


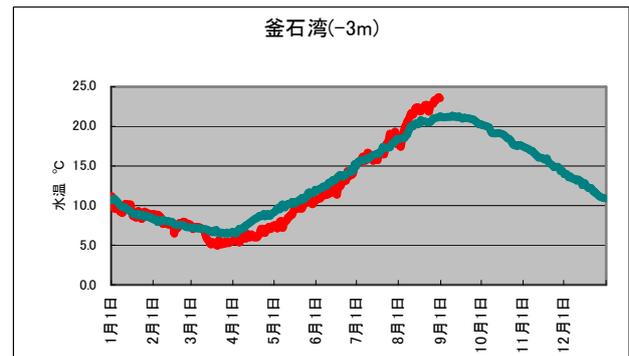
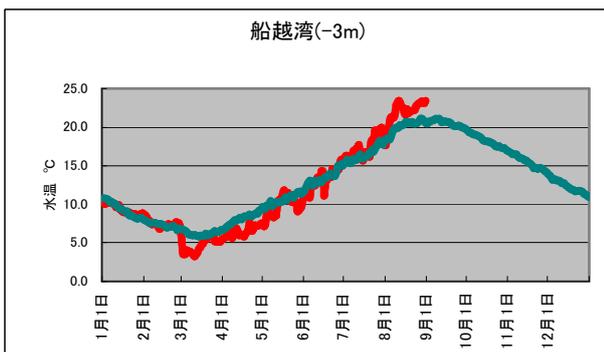
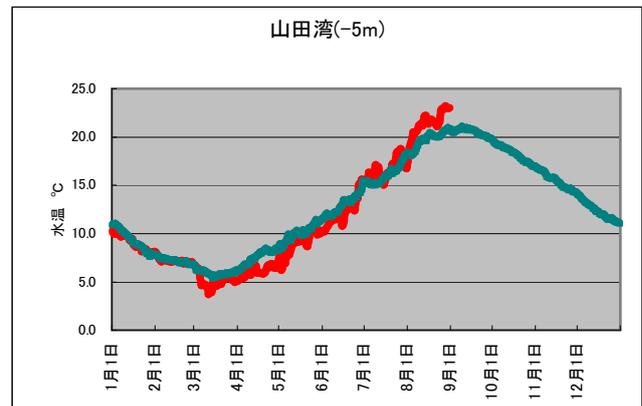
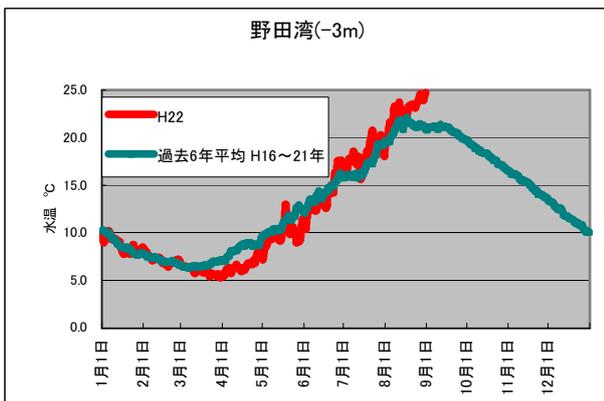
異常高水温に関する情報 No.1

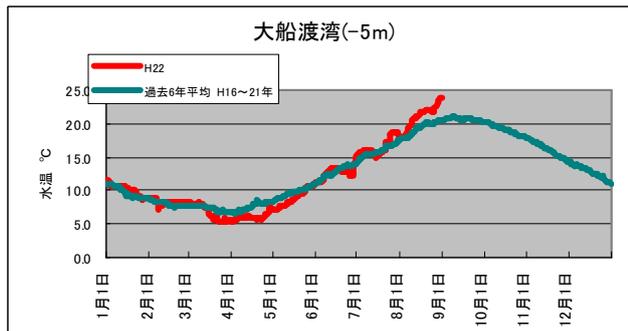
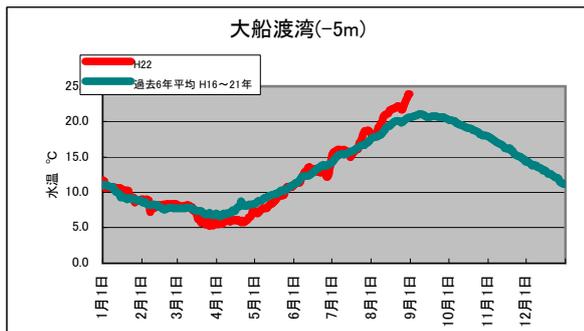
1 高水温の状況

(1) 気象庁データ (8月の平年値との偏差)



(2) 岩手県における定地水温の推移 (8月1日～9月10日)





2 予想される県内の養殖生産における影響及び対応

今後下記の2種類の養殖に影響が出る恐れがありますので、水産技術センターの大漁ナビの定地水温や表面水温の衛星画像等の情報に注意してください。

(1) ホタテガイ養殖

マスコミ報道等でむつ湾では例年に比べ2℃程度高い高水温となり、ホタテガイの斃死の情報も伝えられている。本県でも一番影響が心配される。

対応としては、できるだけ手を付けずに水温が下がるのを待つ。

(2) ワカメ養殖

現在採苗した種苗を育苗している段階と思われますが、23℃以上では配偶体の状態で休眠していると考えられるが、早く芽出しするため垂下水深を上げた場合、透明度が良く光が届くことから成長段階が進むが、栄養塩が低下していることから枯死する恐れが高い。

対応としては、現在の深吊りのままで水温の推移を見守る。